



# 明海大学

浦安キャンパス

## 同窓会会報

編集／会報発行担当  
発行／浦安キャンパス同窓会  
URL <http://www.meikai.com/>

### 同窓会パーティー&イベント

今年も11月3日(日)に開催!



企画担当理事  
伊藤 大典

学園祭の時期、毎年恒例行事として会員の皆様にも認知されている同窓会パーティーですが、今年ももちろん開催します。今年はさらに他の同窓会主催イベントを企画しており、すべてのイベントとも開催日は11月3日(日)の学園祭の中日に当たります。ここで、すべてのイベントについて紹介させていただきます。

まず、10:30より12:00までは「就職支援セミナー」を2101講義室にて在学生対象で開催します。この企画は同窓会会員の有志の方に協力いただき、就職活動を控えた在学生に、OB・OGという身近な立場から社会や就職、働いている業種などの話をしてもらおうもので、OB・OGによる講演といくつかのグループ(業種ごと)に分かれての質疑応答を含めたグループディスカッションの二部構成で考えております。同窓会では以前より在学生に対して就職という部分で何か手助けとなるものが出来ないかと考えておりましたが、今年度からようやく大学学事課(就職支援)に協力いただく形で

実現することとなりました。今回が初めての企画ですが、これを機に恒例行事として定着していけばいいと思っています。

続いて12:00より14:00までは「同窓会パーティー」を開催します。受付は開始30分前の11:30からで、会場は例年通りメイカイクラブ・ニューマリンドです。

企画の詳細は9月頭現在未定ですが、例年より多くの大学の先生をお招きし、学生時代を懐かしんでいただくとともに、HP等現在の活動状況をプロジェクトを使って紹介するなど今の同窓会を見ていただく予定です。その他、肩の力を抜いて皆様に楽しんでいただけるようなものも企画中です。

最後に14:00より15:30まで「浦安・市川の三番瀬を考える討論会」を2101講義室で開催します。大学の所在地である浦安市新浦安地区にとって身近な環境問題として三番瀬の保全問題があります。三番瀬とはその昔あさりなど魚介の豊富な漁場でしたが、新浦安地区をはじめ多くの部分が埋立地となっております。現在は市川市行徳地区を中心に干潟の一部を残しており、東京湾最深部の干潟として野鳥のえさ場になる等その重要性が注目されています。そうした中東京湾岸開発とともにその埋立てへの賛否が国内規模で議論され、1990年代からの環境基本法以降環境への理解が社会へ広まると同時に、埋立てを中止し保全していく方向で千葉県も動き出し、現在に至っ

ています。今後どのように地域開発を行うかについて、さまざまな立場の方から複数の意見がある現状で一つの方向にまとめていく必要があります。すでに市川市・浦安市を中心に三番瀬を考えるイベントや会議が行われていますが、その方向性は依然定まっています。三番瀬に身近な明海大学の学生や同窓生、地域住民の皆さん、行政の担当者などが自由に意見を述べる機会を設け、環境問題を身近に考えられる場になればと思っています。

以上三つのイベントは、浦安キャンパス同窓会会則にうたっています。「会員相互の親睦と明海大学との関係を密にし、母校の隆盛を図り、かつ社会の発展に寄与することを目的とする」という条文を全方位でフォローする画期的な企画であると自負しています。また、同窓会では今年よりさまざまな新しい試みの中で会の活性化を図っており、その一環であるイベントも重要な位置づけと考えております。大学も30周年記念館が建ち、グラウンドも整備されるなど進歩の道を歩んでいます。さらに学外に目を向けてみると新しいショッピングセンターやマンションが建ち並び、公園が整備され、数年大学を訪れない方にとっては別の場所であるかのごとき感覚に陥ることもあるのではないかと思います。この機会にぜひ今の大学の風を感じてみてください。われわれ同窓会役員も各イベントを通じて何か一つでも皆さんに感じとっていただけるものがあればと願っています。三連休の中日となる方も多いと思います。学園祭とあわせて足を運んでみてください。

# 委員会 報告

## 支部設立について



支部設立担当理事  
昌山 永利

昨年7月より浦安キャンパス同窓会理事に就任し、支部設立運営を担当することになりました。

私個人の意見を述べさせて頂きますと、社会に出て10年。経済構造、社会構造また資本主義経済といわれるものがつくり出した世の中のシステムが、善かれ悪しかれ見えてくる年齢、立場になっているのではないかと感じております。その中で、偶然にも一致する明海大学卒業生というひとつの小さなセグメントから、地域性、専門性を重視した、また利潤、利益の追求を主としない人と人とのネットワークを確立できれば、各個人の成長、同窓会の存在意義そして明海大学の発展にもつながっていくのではないかと考えております。

今現在、海外では韓国支部(仮)、国内

においては日本語学科支部(仮)が支部設立準備に向け活動中であります。卒業生の皆様の夢、意思、行動を期待しております。ご連絡は浦安キャンパス内同窓会事務局までよろしく願います。

## ホームページ



HP担当理事  
平松健太郎

同窓会では上記URLにてホームページの運営を行っています。まだご覧になっていない方、「最近見えないなあ」という方は、至急チェックして下さい！

[www.meikai.com](http://www.meikai.com)

このホームページでは各種お知らせ・情報の他に、月1回のペースで大学の最新情報や、オリジナルの特集を公開しています。最近では、「大学校内・周辺の懐かし



## パーティーと併せて学園祭も楽しもう！

11月2日、3日、4日の3日間に行われる「明海祭」。  
今年のテーマは「WE ARE」(私たちは...)だそうだ。

これは、学園祭を学園祭実行委員だけでなく、学生、地域住民を含め全員で造って行こうという意気込みからでたテーマだ。

実行委員長も「参加型の学園祭にしたい」と話していたので、ぜひ皆さん

「風景の今」という内容の特集が6月・8月の3回に渡って、掲載されました。

新浦安から遠ざかっている方、是非ご覧下さい！ 掲示板コーナーでは懐かしい再会を果たされている方もいらっしゃると思いますよ！

また、xxxx@meikai.com(xxxxの部分)が自由に選べます！という転送メールアドレスの無料配布も継続して行っています！

### ●今後の予定

①「同窓会ホームページを見てプレゼントを当てよう！」(仮称)キャンペーンを企画しています。詳細はまだ発表出来ないのですが、ご期待下さい！

②過去からの同窓会報(勿論、これからも)を掲載します！

③ホームページから同窓会名簿への変更依頼が出来るシステムの導入を検討中です！

皆様からのアイデア・ご意見・寄稿は随時ホームページ上で募集していますので、どしどしお寄せ下さい！

もパーティーだけでなく、学園祭にも参加してほしい。



## PAY OFFについて



財務担当理事  
武藤 俊一

2002年4月より、段階的にペイオフが導入されました。

ペイオフとは、簡単に言えば、「2002年4月以降、銀行が破綻した時、元本1000万円とその利息のみが保証の対象となること(逆に言えば2002年3月までは、全ての財産は保護の対象)」であり、言い換えれば「元本1000万円とその利息を超える分が一部カットされる可能性がある」ということなのです。

このペイオフの語源は、英語の「PAY OFF(払戻し)」です。今回のペイオフの解禁とは、すなわち、金融機関が破綻した際の預金保護を、「国が全額保

各種の預金とペイオフ解禁		
はペイオフの対象	2002年3月末まで	2002年4月から03年3月末 03年4月以降
定期預金	→	一部保護 (元本1000万円とその利息まで)
普通預金	→	金利がつく普通預金 金利ゼロの普通預金
新型の無利子の決済●用預金	→	2003年4月に創設を検討
当座預金	→	→
別段預金	→	全額保護

※図A (参考資料 日経新聞)

証する仕組み」から、「定められた保険規定の範囲内(元本1000万円とその利息)のみで保証する仕組み」への変更だといえます。

ペイオフの解禁スケジュールは図Aの通りです。

では、わたくしたち同窓会の預金口座はどのような取り扱いかと申しますと。修学旅行の積立金、町内会、私たち同窓会、趣味のサークルなど法人格を持たない団体の預金はその団体の規約内容と運営方法によって異なります。

まず役員会などの組織があり、多数決などにとつて運営され、構成員が変わっても存続できる団体で、かつ個人財産から独立した財産を持っていれば、独立した一つの預金者と見られます。

法律用語ではこの団体は「権利能力なき社団」と呼ばれマンション管理組合や町内会、同窓会などが該当すると思われる。その場合は金融機関が破綻すれば10



00万円の元本とその利息までしか保証されません。

それ以外の団体は「任意の団体」とみなされ、金融機関の破綻後に、預金はそれぞれに構成員に分割されます。

これには修学旅行の積立金や趣味のサークルなどが該当します。

もつとも「権利能力なき社団」と「任意の団体」の境界は法的には一切規定されておらず、あいまいで区別は難しいです。

現在、財務担当では、積立金全額を定期預金口座から預金保険機構より2003年3月31日まで全額保護される、普通預金口座へ預け替えし、来年4月からの全面的ペイオフ解禁に備え、各金融機関の格付けや各種金融商品(預入先)の選定をしております。

なお、取扱金融機関の選定基準につきましては、別途、有価証券にかかる運用の指針等のルールを作成し、その指針に基づいた運用方法を適用したいと考えております。

会報について



広報担当理事  
川島 信一

近年、インターネットの発展により多くの情報が簡単に手に入るようになりました。しかし思い出せば10年前は家庭の電話、人によってはポケベルで10文字程度の情報をやり取りするだけでした。今ではインターネット、プロドバンド、モバイルが当然になり、基本料金だけでも毎月1万円を超える社会となりました。たった10年で情報入手の手段は増えましたが、私たちはその手段に完全に適応しているのでしょうか。掲示板荒らしなど、情報を弄ぶ人がいる今だからこそ、会報は正確で有益な情報を発信する義務があります。

今年から会報を年に2回発行することになりました。同窓会が今何をしようとしているのか、大学はどう変わったのかをより詳しく伝え、同窓生であることを意識してもらいたいと思います。また、前号の座談会のような意見交換や交流の切っ掛けとなる企画も計画しています。

大学の発展を支えるのは最終的には「同窓生がどれだけ社会で活躍したか」だと思います。みなさんの活躍も積極的に発信し、大学の発展に貢献していきたいと考えております。

AO入試に高い関心！ オープンキャンパス実施

6月に続き7月27日、8月22日、23日に行われたオープンキャンパスには、述べ3日間で1615名が参加し、昨年に比べ大幅な増加となった。

内容は全体説明会、各学科ごとの模擬授業のほか、入試・キャンパスライフ相談コーナーや学内見学ウォークラリー、キャンパスグッズ抽選会など。

AO入試の出願期間中に行われた7月27日には、相談開始時刻から各ブースに大勢の来訪者がみられ、エントリーシートの記入方法や各エントリーでの選考方法などについて熱心に質問をし、関心の高さがうかがわれた。

8月22日、23日は、AO入試「一般」の第1回エントリー通過者を対象とした相談日となっており、各学科から出された課題への取り組み方に対する質問など、第2回エントリー準備のために多くの受験生が相談に訪れた。

オープンキャンパスは、11月の学園祭期間中にも実施する。

## 2001年度明海大学浦安キャンパス同窓会決算書

セキュリティの関係上、インターネットには公開いたしません。  
同窓会会員でご覧になりたい方は直接事務局までお問合せください。

## 2002年度明海大学浦安キャンパス同窓会予算書

セキュリティの関係上、インターネットには公開いたしません。  
同窓会会員でご覧になりたい方は直接事務局までお問合せください。

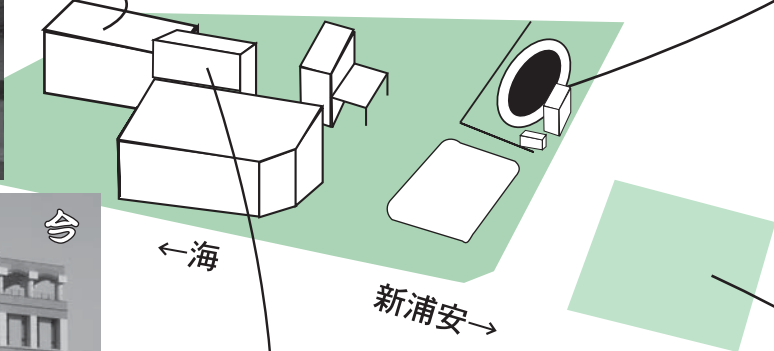
# 浦安キャンパス 今・昔

開校以来、数々の変貌を遂げてきた明海大学浦安キャンパス。  
今回は管理課の協力により、昔の大学と今の大学を写真で比べることに。

①今では3階建てのクラブハウスとトレーニングセンターが。→



②元クラブハウス、  
現在は立派な30周年記念館。  
※図書館はこの中に↓



1期生には信じられない  
変わり様でしょうね。

③全くの更地に、テニスコートが4面増えた。↑



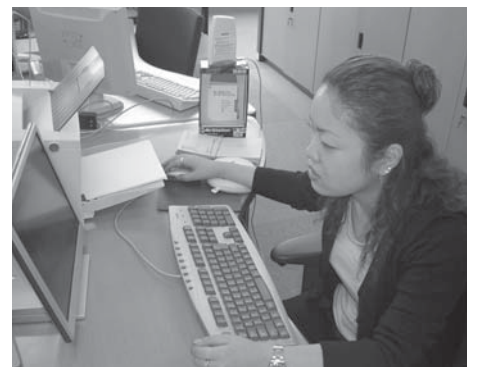
④現在の不動産棟↑  
円形ホールからも近隣のマンシ  
ョンが見えた。→



# 事務局 紹介!

事務局のメンバーは、平成13年4月に就任していただいた福山事務長（写真中央）を始め、事務局開設以来勤務をしていただいている、吉村さん（写真左）と石井さん、そして今年の7月からは同窓生の佐藤さん（写真右）が加わり、4名の方に事務局を支えていただいている。

おもな仕事の内容は、皆さんからの問い合わせに関する回答や、住所変更などのデータベース処理、代議員会、理事会などの会議の準備、また、在学生に対しての支援事業に関する大学との打ち合わせなど、さまざまな仕事をしていただいている。特に代議員会や理事会の前には、各担当理事から寄せられた資料をまとめたり、毎日のように理事たちと電話で打ち合わせをするなど、忙しい日々が続くようだ。



現在は名簿作成に関する問い合わせや住所変更の連絡が多い。

「ご自身の住所や電話が変更した場合は必ず事務局に連絡をしてください。また、音信不通になっていた友だちの連絡先などが分かった場合もご連絡をお願いします」と福山事務長。

連絡方法は電話またはFAX、そしてメールでも受け付けている。

「お近くに来た際には気軽な気持ちで事務局に立ち寄ってください。大学もクリーンキャンペーンをするなど、とてもきれいになっていきます。また、クラブハウスや30周年記念館など見るところも多いですよ。卒業してまだ一度も大学にきていない方はぜひ見に来てください」と事務局全員が皆さんの来訪を歓迎してくれている。

**連絡先**

TEL **047-355-5112**  
FAX **047-355-2871**

E-MAIL dosokai2@taurus.meikai.ac.jp

## さらなる大学発展のために

### 代議員会 & 理事会

6月29日（土）の代議員会には、今回初めて高倉学長、小泉副学長などの大学関係者が参加して行われた。会議は金子会長、高倉学長のあいさつに続き大学職員の紹介のあと議事へと進化した。



報告事項としては2002年度の学年暦や入学試験結果について、就職対策、学生支援についての大学の近況報告。そして、審議事項としては収支決算報告と事業計画案、収支予算案について行われ、6つの委員会担当理事より事業計画の説明がされた。

10月5日（土）の理事会では、代議員会で承認された事項についての近況報告があり、活発な意見交換が行われた。

今後の同窓会のおもな事業は、11月に行われるパーティーと講演会。卒業生への記念品の準備やスキー教室の援助などがある。



### 教育訓練給付制度講座指定

### 高度専門職業人育成のために 費用の8割給付

浦安キャンパス大学院の経済学研究所経済学専攻と不動産学研究所不動産学専攻が、今年の4月1日付けで厚生労働大臣指定の教育訓練給付制度の講座指定を受けている。

この制度は、働く人の自主的な能力開発を支援し、雇用の促進を図ることを目的として、平成10年12月より開始された新しい雇用保険制度である。

一定の条件を満たす在职者や離職者が、厚生労働大臣の指定を受けた講座を受講

し修了した場合、教育訓練に要した費用の8割に相当する額（上限30万円）がハローワークより給付される。社会に開かれた大学を目指す本学は、生涯学習という観点から、働きながら学びたい人のために社会人コースの設置、地域社会の人々のために公開講座の実施、そしてオンラインレッジによる地域社会との深い交流など、さまざまな試みを行ってきた。今回、大学院において教育訓練給付制度の講座指定を受けたことにより、多くの社会人に専門的知識や技術を学ぶ環境を整え提供することができるようになった。

今後一層、高度専門職業人の育成に期待が寄せられている。

# 2002年度サマーキャンプ参加報告

サマーキャンプは主に学生と教職員、明海大学に關係する全ての人達の代表が、お互いの意見を取り入れ、大学生活をより豊かするための相互理解と交流のための場として毎年行われている。

今年(9月4日～6日)の3日間、福島県スパリゾートハワイアンズにて参加者330名のもと開催された。

今回、同窓会としても理事3名が参加した。

\*

\*

\*

サマーキャンプでは、全体会・分科会で話し合いの場を持ち意見を出し合い、報告会で内容の確認、まとめをし、懇親会・観光・スポーツで親睦を深めている。

今年の大きなテーマは「10年後の明海大学を考える」

それに基づき設定された5つのテーマについて参加者は10名程度の班に分かれ、話し合う。

今回は会で出された意見をもとに今、現状として明海大学が抱えている問題を報告する。

## ①「日本人学生と外国人留学生の交流にどのような場が必要か」

今、明海大学は全国で3番目に留学生の多い大学として知られている。学内では各国の留学生会が積極的に活動しているが、日本人学生側からのアプローチが全くと言っていいほど無いのが現状。

その上、交流するためのイベントや機会はあっても、そのための施設がないため学内に留学生会としての居場所がない。今よりも一層の留学生への受け入れ体制の完備が求められている。

## ②「今ある施設の改善点とこれからの問題点」

卒業年度は違っても、私たちが学生の頃に比べ年々学内の施設が新しくなり、増えてきている。(図書館やクラブハウス棟など)意見は今あるものへの補充やバージョンアップの要望が多かった。

大テーマである「10年後の明海大学」を視野に入れると改善されてきてはいるが構内のバリアフリー化も必要である。

## ③「クラスミーティングを今後どのようにしていくか」

クラスミーティングとは2001年度から導入された「大学と学生・学生と教員・学生と学生」のつながりを強めるための「ホームルーム」のようなものである。クラスには専任の教員もいる。

ただ現状は、まだ日が浅いせいかクラスによって内容や集まる回数、満足度などにバラつきがあり、本来の「大学を辞める学生を減らし、快適な大学生活を送るための手助けをする」といった目的が理解されていない。再度、内容の相互理解とミーティングの定期化などがあげられた。

## ④「クリーンキャンペーンについて」

1998年度に行われたリーダーズ研究会で構内の喫煙に関する意見が出され、



1999年から学内分煙になっている。これを受けて同年9月に最初のクリーンキャンペーンが実施されたが、参加は課外活動学生と教職員だけになってしまっている。

学内全体としての美化を努めるためにも、より多くの学生の参加を得ること。そのためには年間行事の一部として定期的に行うこと、告知し認知度を上げることなど意見が出た。

## ⑤「これからの地域社会とどのような接点を作っていくべきか」

現在は各部署が浦安市に派遣され、地域イベントなどに参加しているが、大学HPでのアピールや学内掲示板に地域住民も利用できるものを設置するなど、より意見交換の場を多く持つべきであり、お互いに直接の意見が伝わりにくいので、このサマーキャンプにも住民代表に参加してもらおうべきではとの意見も上げられた。

全てのテーマに共通して出された意見は「PR不足」。そして、全体を通して感じた事も個人個人での問題意識の低さ。何か疑問を持つていても、それを改めて表に出す機会が少ないことである。

実際に話し合いを始めてみると、みんなが問題を抱えており、すっかり自分の意見を持つていないことに気づく。ただ敢

えて自分自身も含めて言うのなら、お互いに問題点を分かりながら何もしないというのは、結局何も考えていないのと一緒である。

私自身、学生時代にはほとんど「大学」というものに関心を持っていなかった。3年次にリーダーズキャンプに学科代表として参加したことをきっかけに学友会活動に携わるようになり、今は同窓会の理事として「大学」と関わっている。

今回、学生としてではなく、それを支える側として参加したサマーキャンプだったが、学生の時には考えられない事を感じ、大学生活を学生として運営している8つの委員会・連盟会の意見・報告を聞くことが出来た。

そういった意味でも、このようなサマーキャンプという機会は、とても大切であるし学生の間にも次第にこの場で意見を言う事が学内に反映される近道であるとの認識も出てきているらしい。

「10年後」にただ期待するのではなく今すぐ出来ることから。総評にもあったが全ては「一歩を踏み出す事により大きな道筋となる」ということを再認識する良い機会だった。

今、学生が何を望み、何をしているのか。

この機会を踏まえた上で、同窓会として何が出来るのか。私たち同窓会も会員全体で考えるだけでなく、しっかりと行動していかなくてはならない。

そしてサマーキャンプをきっかけに、より多くの人が「明海大学」を考えることが出来るようになればと思う。

取材 同窓会理事 佐藤幸恵



## 同窓会員の 図書館利用について

最近、明海大学に行きましたか。行くための適当な口実が見つからなかった皆さん、大学の図書館は、浦安市民だけでなく2001年9月より、同窓生も利用できるのを知っていましたか。知らなかった方はこれを期にぜひ新しい建物である30周年記念館に行ってみてください。

- ・開館時間 月～金 9:30～21:30  
土 12:00～20:00  
(学生休暇中は時間の変動あり)
- ・閉館日 日曜・祝祭日(その他蔵書点検等で休館の場合あり)
- ・館外貸出 2週間以内 4冊まで
- ・貸出手続 必要なもの  
①身分証明書  
②卒業証明書、または学位記(卒業証書)のコピー

《申請方法》 上記書類と図書館備え付けの申請書を図書館カウンターに提出してください。入館・貸出はその日から出来るようになります。

- ・蔵書検索 URL <http://opac.meikai.ac.jp/opac/>
- ・その他 申請は必ず本人が行ってください。カードの貸与・譲渡はできません。
- ・連絡先 ☎047-350-4997

かになっております。今回の同窓会名簿は、その集大成ともいえるべきものです。懐かしい友人へ手紙を送ってみたり、楽しかったサークルのメンバーを集めて再会を果たしたりと、皆様のコミュニケーションの手助けになれば幸いです。お申し込み頂いた皆様には、12月中旬ごろから1月中旬にお届け致します。(是非、取り扱いに注意し、大切にしてください。)

さて、同窓会の設立目的は、あと2つあります。それは、卒業生の社会での活躍を支援すること、母校の発展に寄与することです。前者については、今のところ具体的な活動に至っておりませんが、それぞれの立場・目的などに合わせたコミュニケーション(支部)を作り、そこから皆さんの生活が豊かなものになるように支援をしていく計画を立てています。(例えば、同業種・異業種コミュニケーションや地元講演会など)

また、後者に対しては、在学生の課外活動への支援や就職支援などの活動を行っております。特に今年には就職支援に力を入れており、大学の就職支援組織とも連携して、我々ができる援助をしていこうと考えております。先日、皆様にお聞きした就職支援への協力可否も、その一環です。卒業生の我々が、在学生に簡単にできること。それは、仕事や会社の実態を伝えてあげることだと思います。そこで今年度は、OB・OG訪問の環境作りというテーマで、活動を進めていく予定です。まだまだ、歴史は始まったばかりですが、いつまでも明海大学卒業生であることを誇りに思い続けられるように、皆さんと共に努力していきたい。こう思っています。

無職の間に、タイに10日間だけ行ってきた。個人的にタイが好きなので今回で5回目となる。バンコクのウィークエンドマーケットには日本人バイヤー向けの商品が目立ち、日本人バイヤーもあちこちで見かけた。バイヤー通りのようなものもできていた。チェンマイというタイ第二の都市も、欧米人向けのカフェバーと雑貨屋がたくさん増えていた。店で見習いをしていた友達は、独立して繁盛店となっていた。観光では知ることのできない街の変化を見ることができた。

無職故に帰国後の生活が危うかったが行った価値は大きかった。無職の時間をそれなりに有効に使うことができたのではないだろうか。

同窓会からの会報を年に2回発行するということは、僕の苦勞は2倍になる。さらにやってみると実際は3倍にも4倍にも感じる時もある。年1回では毎年同じ内容の会報になるから年2回にすることで、テーマを持った会報ができると提案したのは自分である。新しい仕事と夜学への入学で、自分自身の時間的余裕がさらになくなるが会員全員に平等に情報を発信する唯一の手段ということに責任と楽しみを感じている。

同窓会発展に貢献できる会報を作りたい。

●ハイオフに関しては9月中旬の報告となっております。政府は10月7日に解禁時期を2005年4月まで2年間延期を決めました。

編集長 川島信一



同窓会副会長  
鮫島 伸一

## 同窓会と共に歩んだ10年

明海大学卒業生の皆様、こんにちは。浦安キャンパス同窓会で、副会長を務めさせて頂いております。経済学部1期生の鮫島と申します。半年ほど前に、10年間勤めていた会社を退職いたしました。現在、転職活動中ですが、会報到着時には働いているはずですよ。

1期生卒業と同時に設立した、明海大学浦安キャンパス同窓会も10年。卒業生も総勢で約15,000人になり、会費

は億単位にまでなっています。卒業生の活躍の場所も、世界中へとその舞台を広げ、まさにグローバル時代の大コミュニティにまで、成長いたしました。毎年開催している学内パーティーやホームパーティなど、同窓会の活動も活発になってきており、同窓会役員の責任も大きくなってきたことを実感しております。

この度、同窓会の設立目的の1つである卒業生同士のコミュニケーションの充実を図り、また設立10年目の記念事業という意味も含めて、同窓会名簿が発行されます。同窓会の命は、皆様の所在確認と言っても過言ではありません。所在不明になった瞬間に、卒業生同士の輪から外れてしまうからです。そのため、設立当初から、その情報整備と個人情報管理に取り組んで参りました。皆様の協力もあつて、ほとんどの卒業生の所在が明らか

## 編集後記

### 「休養期間に」

無職の間に、タイに10日間だけ行ってきた。個人的にタイが好きなので今回で5回目となる。バンコクのウィークエンドマーケットには日本人バイヤー向けの商品が目立ち、日本人バイヤーもあちこちで見かけた。バイヤー通りのようなものもできていた。チェンマイというタイ第二の都市も、欧米人向けのカフェバーと雑貨屋がたくさん増えていた。店で見習いをしていた友達は、独立して繁盛店となっていた。観光では知ることのできない街の変化を見ることができた。

無職故に帰国後の生活が危うかったが行った価値は大きかった。無職の時間をそれなりに有効に使うことができたのではないだろうか。

同窓会からの会報を年に2回発行するということは、僕の苦勞は2倍になる。さらにやってみると実際は3倍にも4倍にも感じる時もある。年1回では毎年同じ内容の会報になるから年2回にすることで、テーマを持った会報ができると提案したのは自分である。新しい仕事と夜学への入学で、自分自身の時間的余裕がさらになくなるが会員全員に平等に情報を発信する唯一の手段ということに責任と楽しみを感じている。

同窓会発展に貢献できる会報を作りたい。

●ハイオフに関しては9月中旬の報告となっております。政府は10月7日に解禁時期を2005年4月まで2年間延期を決めました。